

車いす利用者にとっ
ては小さな段差も負
担となることを確認
する洛陽工業高の生
徒ら（京都市南区）



小さな段差も 車いすは大変

洛陽工業高生 まちづくり議論

南区で授業

誰もが安心して暮ら
せるまちづくりを考え
る授業が26日、京都市
南区の洛陽工業高であ
った。2年生23人が、
車いすの利用者や高齢
者、妊婦らの立場に立
って街を歩き、課題や
改善策を議論した。

市が検討する同高周

生徒は車いすに乗っ
たり、膝を曲げにくく
する装具や妊婦を疑似
体験できる重り、視

界が狭くなるゴーグ
ルを身につけ、1時
間ほどかけて街を歩い
た。
続いて気づいた点を
話し合い、「看板が歩
道にはみ出た場所があ
り、危険」「小さい段
差も車いすでは上りに
くいので無くしてほし
い」などの意見が出た。
本多恒輝さん（17）は
「これまで意識してい
なかったところに気づ
けた。自分の住む街や
社会についてよく知り
たい」と話した。
（山田修裕）

京都新聞

平成29年1月27日（金）朝刊

市民版 掲載